

日本センチュリー交響楽団

北摂定期演奏会～高槻公演～

生誕150年のラヴェル!ベートーヴェン!久石!



久石が描く
色鮮やかな
音物語

Program

久石 譲: シンフォニア ～室内オーケストラのための～ から
第3楽章 デイヴェルティメント

Joe Hisaishi: Divertimento (3rd movement from Sinfonia for Chamber Orchestra)

ベートーヴェン: 交響曲 第1番 ハ長調 作品21

L. v. Beethoven: Symphony No. 1 in C major, Op. 21

ラヴェル: ダフニスとクロエ 第2組曲*

M. Ravel: Daphnis et Chloé Suite No. 2

ラヴェル: ボレロ

M. Ravel: Boléro

2025 **9.27** [土] 14:00開演
[13:00開場]

高槻城公園芸術文化劇場 南館 トリシマホール

指揮: 久石 譲

Joe Hisaishi, conductor



合唱: 日本センチュリー合唱団*
Japan Century Chorus

ご予約
お問合せ
◆センチュリー・
チケットサービス
◆高槻城公園芸術文化劇場
チケット専用電話

☎06-6848-3311 <https://www.jcso.or.jp/ticket/>
(平日 10:00-18:00) 日本センチュリー 検索

☎072-671-9999 <https://www.takatsuki-bsj.jp/tat/ticket>
(10:00-17:00 ※月曜休館 祝日をのぞく) ※発売日の電話受付は14:00～



【発行日】 6/11(木):高槻文化友の会先行発売
6/18(木):発売 ※劇場取り扱いのみ

■スペシャルスポンサー



■フレンドシップパートナー



主催 | 公益財団法人 日本センチュリー交響楽団
共催 | 公益財団法人高槻市文化スポーツ振興事業団

■オフィシャルスポンサー



日本センチュリー交響楽団 北摂定期演奏会～高槻公演～



4月に音楽監督に就任した久石譲が、日本センチュリー交響楽団とともに、高槻城公園芸術文化劇場 トリシマホールに登場します！冒頭の久石作品は、2009年に自身が久しぶりに作品を作ると決めた出発点として『非常に重要な位置づけの作品』と語り、複合的なリズムと古典的な音楽の要素が組み合わされた新しいスタイルとして発表されたもの。ベートーヴェン交響曲第1番は初期の作品ながら楽聖ベートーヴェンらしい快活さとエネルギーに溢れています。後半のラヴェルはバレエのために書かれた「ダフニスとクロエ」。スケールが大きく豊かな音楽と厚みある管・弦・打楽器に混声合唱が加わり、ラヴェルの色鮮やかな世界が表れます。最後はボレロで大団円、久石&センチュリーが魅せる『音』を是非お楽しみください！



指揮:久石 譲 Joe Hisaishi, conductor

現代音楽の作曲家として活動を開始し、音楽大学卒業後からミニマルミュージックに興味を持つ。1981年「MKWAJU」を発表、翌年に1stアルバム「INFORMATION」を発表し、ソロアーティストとしてキャリアを開始。2023年6月、クラシック名門レーベル、ドイツ・グラモフォンからリリースされた最初のCD「A Symphonic Celebration」は米国ビルボード・クラシック・アルバム&クラシック・クロスオーバー・アルバム・チャートで2度の1位を獲得した。04年「新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ(W.D.O)」音楽監督に就任。17年には「Joe Hisaishi Symphonic Concert: Music from the Studio Ghibli Films of Hayao Miyazaki」の世界ツアーを開始し、パリ、メルボルン、ロサンゼルス、ニューヨーク、プラハ等で大成功を収める。14年、世界の最先端の「現代の音楽」を紹介するコンサート・シリーズ「MUSIC FUTURE」を始動。19年には「FUTURE ORCHESTRA CLASSICS(FOC)」をスタートさせ、同年リリースの「久石譲 ベートーヴェン:交響曲全集」は第57回レコード・アカデミー賞特別部門特別賞を受賞。近年はクラシック音楽の指揮者として活動するほか、「交響曲第2番」「Metaphysica(交響曲第3番)」「Viola Saga for Orchestra」などの作品発表にも意欲的。24年11月にはLAフィルをはじめ4団体の共同委嘱によるハープ・コンチェルトを世界初演した。これまで、フィリップ・グラス、デヴィッド・ラング、ミッシェル・マイスキーなどのアーティストや、ウイーン響、ヘルシンキフィル、ロンドン響、メルボルン響、シカゴ響、トロント響、LAフィル、サンフランシスコ響などのオーケストラと共演。23年10月、日本センチュリー交響楽団とマカオ国際音楽祭に出演し大きな成功を収めた。24年4月よりロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団Composer-in-Association。25年4月、日本センチュリー交響楽団音楽監督に就任。



合唱:日本センチュリー合唱団 Japan Century Chorus

前身の大阪センチュリー交響楽団(現日本センチュリー交響楽団)との共演を目的として1992年に発足。2019年1月新たに、指導者に石原祐介、ヴォイストレーナーに端山梨奈、高橋純、ピアニストに仲香織、松浦紫陽の各氏を迎え、現在の体制が誕生。これまでに日本センチュリー交響楽団との定期演奏会でのブラームス「ドイツ・レクイエム」、ベートーヴェン「フィデリオ」、ブルックナー「詩篇第112番」、「豊中名曲シリーズ」でのフォーレ「レクイエム」等の共演のほか、「星空ファミリーコンサート」でのプレコンサートでも好評を博している。そしてより質の高い合唱団を目指して日々練習を重ねている。



日本センチュリー交響楽団 Japan Century Symphony Orchestra

街に響く。心に届く。

1989年に発足、大阪府豊中市を拠点に活動するオーケストラ。

2025年4月より久石譲が音楽監督を務める。ザ・シンフォニーホールでのシンフォニー定期演奏会、豊中市立文化芸術センターでの「豊中名曲シリーズ」を開催。教育プログラムや地域連携事業にも力を入れ、依頼公演、室内楽コンサート、アンサンブル等を合わせて年間200回を超える公演を行っている。飯森範親指揮「ハイドン交響曲集Vol.1」(他複数)等がレコード芸術特選盤に選出、大阪府文化祭奨励賞受賞(2015年度、2018年度)など、その高水準な演奏は高い評価を得ている。「伝統と革新～未来をつなぐ音楽を～」をスローガンに掲げ、音楽を通じて地域と未来を結ぶ架け橋として進化し続けることを目指す。2024年12月に楽団創立35周年を迎えた。

オフィシャル・ホームページ <https://www.jcso.or.jp>



料金 S席 4,500円 / A席 3,500円 / B席 2,500円

※高槻文化友の会員は各1割引
※未就学児入場不可 ※やむを得ない事情により出演者、曲目等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。
※車椅子席/補助犬の同伴をご希望の方は、劇場の窓口・電話にてお問合せください。

○センチュリー・チケットサービス Tel.06-6848-3311(平日10:00-18:00)
センチュリー・ネットチケット <https://jcso.or.jp/ticket/>

○高槻城公園芸術文化劇場チケット専用電話(10:00-17:00 ※月曜休館 祝日をのぞく)
[電話]072-671-9999
[web]<https://www.takatsuki-bsj.jp/tat/ticket>
[窓口]高槻城公園芸術文化劇場 南館(10:00-17:00)

○チケットぴあ <https://t.pia.jp>[Pコード:291-547]
○e+(イープラス) <https://eplus.jp/>
○ローソンチケット <https://l-tike.com/>[Lコード:53331]

高槻城公園芸術文化劇場
Takatsuki Arts Theatre

〒569-0077 大阪府高槻市野見町6-8

〈ACCESS〉

【電車でお越しの方】

●阪急高槻市駅から徒歩約8分

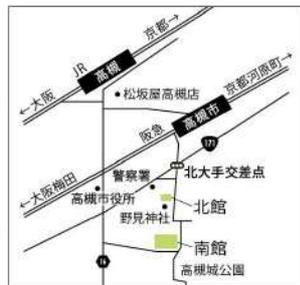
●JR高槻駅から徒歩約13分

【お車でお越しの方】

●国道171号「北大手」交差点を南へ、約350メートル

※駐車場の駐車台数には限りがありますので、

公共交通機関又は自転車等のご利用にご協力をお願いします。



チケット取り扱い